

山形

いぶき



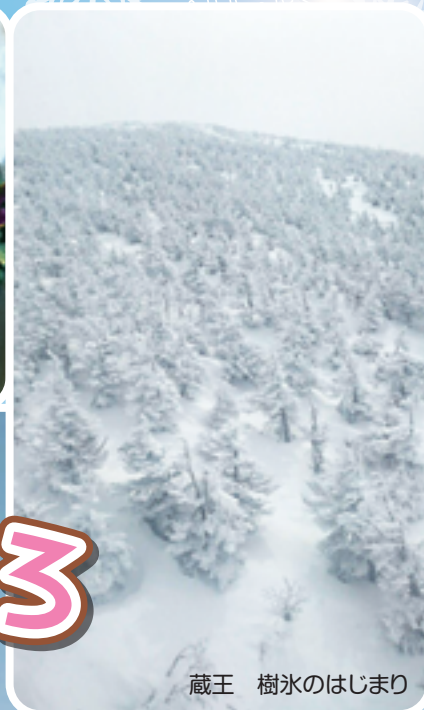
YNA 夢・ナースング・愛



米沢雪灯籠祭



葉牡丹



蔵王 樹氷のはじまり



冬のヴィオラ

山形の冬 いろいろ



酒田港からの鳥海山

TOPICS

- 平成30年を迎えて
- 山形県看護研究学会・新人看護職交流会
- 保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能だより
- 年男・年女今年の抱負
- 庄内・置賜支部活動状況
- 訪問看護ステーション4ブロック会議
- ナースセンターだより

平成30年度「日本看護協会通常総会・職能別交流集会」

- 期日：平成30年6月12日(火)～13日(水)
- 場所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜

平成30年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期日：平成30年6月22日(金)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター 3階第1研修室他

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。

機種によってはアクセスできない場合があります



山形県看護協会



平成30年度会員数
(1月現在)

保健師	379
助産師	356
看護師	6,741
准看護師	212
計	7,688

会長あいさつ ―平成30年を迎えて―

地域包括ケアシステムの推進・深化に向けて 地域の看護力を強化しよう

公益社団法人山形県看護協会 会長 井上 栄子



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたりまして一言ごあいさつ申し上げます。

日頃より山形県看護協会の事業にご理解とご支援いただき、無事に新しい年を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

平成29年度は、日本看護協会の「都道府県看護協会地区支部等における高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業」に、昨年庄内地域に続き、置賜地域が取り組みました。

そして山形県看護協会のあらたな事業「地域の看護力強化支援事業」として、北・西村山地域、最上地域においても看護管理者のネットワークができたことは、看護がつなぐ地域包括ケアシステムの推進の第一歩であると思います。

併せて、日本看護協会の「訪問看護における人材活用試行事業」が、山形県訪問看護サービス提供体制整備事業「担い手創出等事業」につながり、5人の病院看護師が4つの訪問看護ステーションにそれぞれ在籍出向できました。今後も事業を継続して取り組むことが必要であると考えています。

また、訪問看護ステーションの空白地域である最上北部医療圏に、訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川が、真室川町・金山町・鮭川村の3町村との協議、検討を重ねて昨年8月に開所したところです。

今後の少子・超高齢・多死社会の多様なニーズに看護が応えていくためには、医療機関においても退院支援・在宅復帰支援機能の強化が求められています。住み慣れた町で最後まで暮らせるように支援することが重要であり、看護職も病院だけでなく、地域のさまざまな場所で役割を発揮することが期待されています。

2025年に向けて、看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護～「生きるを、ともに、つくる。」を目指し、活躍する看護職の支援を行うと共に、地域包括ケアシステムの推進・深化に向けて、看護職間が更なる連携を図り、地域の看護力の強化ができるようにご協力していただければ幸いに存じます。

最後に、皆さまにとって良い年でありますようにご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



平成29年度山形県看護研究学会

一人々の生活を地域で支えるために

学会実行委員 井上 京子

平成29年度山形県看護研究学会を、平成29年11月9日（木）に山形県看護協会会館にて開催しました。『いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護連携』をメインテーマに掲げ、堀田聡子先生による特別講演「地域包括ケアから地域共生社会へ：“co-producer”としての住民・地域を考える」のほか、今年度は交流集会「山形から発信する看護連携」を企画しました。参加者は学生を含む269名でした。

アンケートの結果から、特別講演では、地域包括支援に関する具体的なお話を聴き、新たな視点が得られ今後の方向性が理解できたというお声をいただきました。また、交流集会は山形県の地域の取り組みに関する様々な立場からの内容で、在宅医療の幅広さや多職種連携の重要性を再確認できたという声をいただきました。意見交換の時間が十分にとれなかったという反省点もありますが、すべての人々の生活を地域で支えるために、看護職として何ができるのかを考える機会になったのではないのでしょうか。

また、昨年から企画している認定看護師によるNurse Caféは、気軽に立ち寄り身近に相談することができ、ホッとできる空間になっていたようです。

今年度は、山形県内の看護職の皆様が取り組まれた研究の成果として23題の発表がありました。研究の充実感や達成感が得られることも本学会の役割だと思います。学会の更なる発展をお祈りいたします。



口演発表



ナースカフェも賑やかに

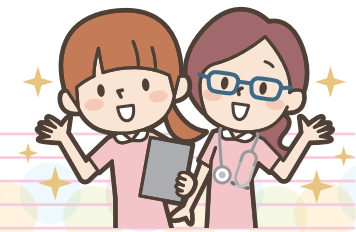


堀田先生による特別講演

平成29年度新人看護職交流会

「すてきに、生き生き看護職」

を開催しました!!



日本看護協会「平成29年度地域における看護職ネットワーク事業」を受け、平成29年度新人看護職交流会「すてきに、生き生き看護職」を開催しました。

11月20日（月）置賜支部を皮切りに、11月27日（月）最北支部、12月4日（月）庄内支部、12月8日（金）山形支部で、各支部長はじめ支部役員と会員拡大推進委員の方々の協力を得て実施し、参加者は115名でした。急なお知らせにもかかわらず、各施設のご協力をいただき、たくさんの方の参加があり、大変感謝しております。ありがとうございました。

交流会では、各地域の認定看護師や専門分野で活躍している先輩看護師のお話を聞き、その後に「今までの自分の看護を振り返ろう」というテーマでKJ法を用いてグループワークで課題をまとめました。参加者からは、先輩看護師の話から『看護師としてどうありたいかを考えるきっかけになった』や『自分が看護をしていく上で大事にすべきこと』、『患者さんとの関わりを大切にしていくこと』など

を学ぶことができたという感想が聞かれました。自分の看護の振り返りを文字にして書き出しグループ内で話し合うことで、自分を見つめ直し、他施設で働く仲間と共有することができたという言葉が聞かれ、良い機会になったようでした。今回の交流会は、地域で働く仲間同士の顔の見える関係づくりを目的としていましたが、他施設の同年代の看護職とお菓子を食べながら、リラックスした雰囲気の中交流ができていたようでした。交流会で繋がった輪が、今後大きく広がることを期待しています。

（小松常任理事 記）



山形支部



最北支部



庄内支部



置賜支部

保健師 職能だより

第2回保健師職能研修会報告

テーマ：「自治体保健師に求められる能力について―標準的なキャリアラダーの活用―」

月 日：平成29年11月18日（土）

場 所：山形県看護協会会館 2階第2研修室

参加者：32人

講 演：「自治体保健師に求められる能力について―標準的なキャリアラダーの活用―」

公益社団法人日本看護協会 健康政策部長 村中 峯子 氏

講演の感想： 保健師の教育背景、職務経験の多様化などから、各保健師の能力の成長過程を段階別に整理したキャリアラダーが必要であるとのお話がありました。キャリアレベルをA1～A5とし、A3を「一人前の保健師」のレベルであると評価することができると、キャリアラダーは個人としての能力を評価するとともに、組織全体としての業務体制のあり方を見直すことにもつながるツールであることを学びました。



事例発表

1.山形県保健師活動指針について 村山保健所保健企画課地域保健主幹 長岡静子氏
山形県保健師活動指針の作成過程とその背景にある山形県の保健師像、目指すべき保健活動などについてお話をいただきました。

2.庄内保健所における保健師現任教育の取り組みについて

庄内保健所保健企画課主任保健師 齋藤夏希氏
地域保健従事者現任教育推進事業として、保健師統括者会議、各階層（新任期、新任期指導者、中堅期・管理期）に応じた研修会、介護・福祉職等との合同研修を開催していることなどについてご紹介いただきました。

3.鶴岡市の保健師現任教育の取り組みについて

鶴岡市健康福祉部健康課 保健主幹 小林まゆみ氏
各部署の保健師が連携を取りながら保健活動を推進するために、部署を越えた横断的な会議を定期的に開催していること、また、独自に作成した新任期のプログラムを活用していることなどについてご紹介いただきました。



グループワーク

山形県保健師活動指針の活用状況、自治体保健師に求められる能力について、ディスカッションを行いました。その中で、ラダーの自己評価を通して、保健師としての経験の偏りなどに気づくことができる、自己成長のためにはジョブローテーションが大切、県の活動指針を積極的に使っていきたいなどという声が聞かれました。また、保健師同士が能力を高め合える場づくりを組織として確立することの重要性についても実感できる研修となりました。

助産師 職能だより

平成29年度 継続教育研修

卒後3年目までの助産師研修 平成29年9月2日（午前）開催 参加人数11名

講 師：山形県立保健医療大学 保健医療学部看護学科教授 遠藤恵子氏

内 容： 同年代の助産師との情報交換を行い、交流を深めることができました。モチベーションが上がった、今後の業務に役立たせたい等の声が聞かれました。

CTG研修 平成29年9月2日（午後）開催 参加人数18名

講 師：米沢市立病院 助産師 我妻睦氏

内 容： Team Steppesについて楽しく学んだあと、CTGの判読と対応について説明がありました。次に、グループ毎に事例判読を行いどのような判読をしたかを出し合い、正しい判読と対応を学びました。わかりやすくてとても勉強になり満足度100%の研修でした。

周産期のメンタルヘルスケア 平成29年11月11日開催 参加人数24名

講 師：日本海総合病院 臨床心理士 松本千鶴子 / 公徳会米沢こころの病院 精神科認定看護師 土屋智彦

内 容： 午前は「臨床心理士によるコミュニケーション能力」と題し、実際の産前学級での指導方法で、妊産婦へのやさしい言葉の使い方から、育児支援まで具体的に学ぶことができました

午後は「精神認定看護師による疾患について」と題し、疾患の病態生理から治療、対応までを講義いただきました。その後、グループワークを行い、その中から成功体験、困難事例を共有しながら検討できました。



CTG 研修



周産期のメンタルヘルスケア

看護師 職能Ⅰだより

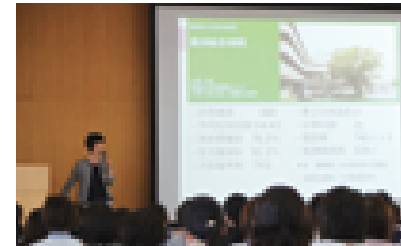
看護師職能Ⅰ研修会 平成29年7月21日（金）

「医療機関と地域をつなぐ退院支援 一入院前から始まる退院支援」

144名の参加があり、退院支援や地域連携へ関心の高さが伺えました。

午前の講義では退院支援の意義、退院支援のシステム作り、医療機関における地域との連携について学び、患者・家族の意思を尊重するためには、地域の多職種他機関と協働し、立場の違いを埋めて生かしあうことが大切であることを学びました。

午後は各地域からの事例発表を行い、実際の活動状況を知ることができました。その後、「各地域における医療機関と地域をつなぐ連携の現状から一歩進んだ方策を見つけよう」をテーマに地域別に分かれてグループワークを行いました。参加者からは「退院調整・協力体制の重要性を学べた」「地域ごとのグループ交流もでき、お互いの活動や役割を知る機会となった」などの感想をいただきました。研修を通して、自身の在宅療養支援力について考えることができた研修でした。



看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）

8月26日（土）「看護師のクリニカルラダーを活用した組織内教育」研修会に参加しました。JNAラダーとは、看護の質の担保・質の向上・社会貢献へ結び付ける等の目的で開発され、実践能力だけでなく、所属する組織人として必要な基盤が含まれ、期待される能力の可視化でもあります。病院・地域等あらゆる場の共通ツールとして活用できることを理解できました。各施設でめざす看護を具体的に表し、活用していきましょう。

看護師 職能Ⅱだより

看護師職能Ⅱ研修報告

平成29年8月21日（月）に山形県看護協会会館研修室において、「介護・福祉・在宅領域で働く看護職の【看取りの援助】」の研修会を開催しました。38名の参加者があり、コミュニケーションではロールプレイをしたり、エンゼルケアでは短時間で実演も取り入れた内容でした。研修後のアンケートでは相手を知ること、家族の気持ちに寄りそうことを学べ、実践に活かせる、スキルアップにつながるという感想・意見をいただきました。

また、平成29年11月28日（火）・29日（水）の2日間は、「介護事業所で働く中堅看護職の【リーダーシップ育成】」研修を開催しました。22名の参加をいただき、講義・事例発表・グループワークと盛りだくさんの内容でした。フィジカルアセスメントの講義も大変好評で、参加者からは「救急対応の講義がわかりやすかった」「各施設の状況も理解でき、ディスカッションの内容までも明日からの業務に活かそうだ」などの声をいただきました。

開催における今後の課題としては、長時間になっても1日の研修にする、月をまたいで2日間の開催にするなど、参加しやすい開催日程の工夫があげられています。

今後も、実践に活かせる研修を企画していきますので皆さん、ご参加の上、多くの意見を寄せください。

今年度の委員会活動は、日本看護協会の看護師のクリニカルラダー運用に関する周知活動、病院看護師の在宅療養支援力の強化、勤務環境改善の推進の3つを柱に現状の把握や課題抽出、研修会の開催などを行っています。



看護師職能Ⅱは介護・福祉関係施設・在宅領域で働く看護師の活動を支える委員会です。

少ない会員数ですが、現場からの率直な意見を取り上げながら、介護領域や地域で働く看護師のスキルアップを目指して活動しています。今後も皆様からのご意見、ご協力をよろしくお願い致します。



介護事業所で働く中堅看護職のリーダーシップ育成



介護・福祉・在宅領域で働く看護職の看取りの援助

2018年 年男 年女 今年の抱負

2018年の抱負

山形県立新庄病院 吉田 夏美

2017年は新人看護師として働きはじめ、さまざまなことを覚え、仕事になれることに精一杯でした。看護師2年目になる2018年は、心に余裕をもって、患者さんとご家族の方とのコミュニケーションを大切に、看護を行っていききたいと思います。

現在私は、消化器内科と小児科の混合病棟で、消化器内科のチームで働いています。昨年は、知識や技術などの不足から、患児のケアを行えない自分に不甲斐なさともどかしさを感じました。今年は小児看護についても深く学び、実践し、ワンランク上の自分を目指し、努力していききたいです。

忘却

山形ロイヤル病院 看護師 三好 幸男

かの三島由紀夫は「忘却の早さと、何事も重要視しない情感の浅さこそ、人間の最初の老いの兆しだ」と言ったとか。今年4回目の年男を迎え、経験・学んだことがザルからこぼれ落ちることく記憶に残らないことに悩み抗いながらも人間として成長できる1年にしたい。

今からおよそ30年前の高校の卒業式。担任教師が私の名前を声高らかに「三島由紀夫」と呼んだことは忘却の早さに悩みながらも、今でも忘れない記憶である。

今年の目標

本間病院 池田 奈央

看護師となって3年が経ち看護業務だけでなく、少しずつではありますが患者さんとの関わりを通して患者さんの個性を考えた看護を提供出来る様になってきました。そして後輩が入職してきて先輩から指導して頂く立場から自分が指導する立場となりました。自分自身看護師としての経験や知識が浅い為不安ではありますが、積極的に技術、知識を取得し深く後輩に優しく指導出来、頼りになる存在になりたいです。

2018 ワンダフル

山形県立河北病院 笠原 愛理

私は、2017年4月に看護師として河北病院に採用され働き始めました。社会人としての行動、看護師として患者さんへの対応など、色々なことを学びました。何とか毎日過ごすことが精一杯で、辛いことがたくさんありました。でも、物事は自分の感じ方や考え方で、どんな風にでも捉えられると思います。2018年は仕事も私生活でも一つひとつの出来事に感謝しながら、毎日をポジティブに、大切に過ごしていきたいと思っています。

年のはじめに思う事

公立置賜長井病院 小熊 香代子

新年を迎え、5回目の年女を迎える事となりました。若いころは仕事と子育ての両立が大変だった事が思い出されます。子育ても終わった今は、自分の体調管理に注意しながら仕事を続けて行く事を中心に考えています。いままで支えてくれた人達に恩返しをしながら、もう少しこの仕事続けていきたいと思っています。今まで支えてくれた人達に感謝です。

2018年頑張ること

山形市立病院済生館 佐藤 亜美

今年の抱負は看護師としての知識をさらに増やし向上心を持って仕事に臨むことと、自立した生活をきちんと送ることです。看護師として2年目になりますが、仕事をするうえで勉強不足を感じる事が多くあります。患者さんの身に起こっていることを把握するためにも病態を理解し、患者さんに説明できるよう学びを深めていかなければいけないと思いました。多くのことを吸収できるよう研修などに積極的に参加し向上心を持って仕事を行っていききたいです。去年までは生活面がおそろになることが多かったため、今年は自炊なども含めメリハリのある生活を送れるように努力したいです。

今年の抱負

公立高島病院 鈴木 めぐみ

明けましておめでとうございます。今年の抱負は、「仕事もプライベートも自分のできる限りのことを一生懸命にする」です。昨年は、1日1日があっという間に過ぎ、やりたいこともできずに終わった一年でした。今年は充実した一年になるように、いろんなところに出かけたり、美味しいものを食べたり、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

今年の抱負

鶴岡協立リハビリテーション病院 村井 佐保子

看護師になって約20年。沢山の事を学び、沢山の仲間との出会いがありました。まだまだ子育て真っ最中で、忙しい日々を送りながら、回復期病棟でやりがいを見つけ頑張っています。今年は年女、何か特別な事をしようとも考えましたが、昨年の研修で学んだ認知症についての学びを深め、日々の業務に生かしていけたらと考えています。体調に十分注意し、充実した1年にしたいと思います。

今年のわが家

訪問看護ステーションやまがた 多田 しおり

今年は息子も小学6年生となり、4年生から始めたスポ少でも最高学年としてチームを引っ張っていく立場となります。日に日に成長し、ぐんぐん上達していく息子達のため、親として多方面からサポートしていきたいと思っています。そのためにも、自分自身の体調管理、家族の体調管理をしっかり行っていきたいと思っています。

今年の抱負

天童市健康課 松田 英理

昨年は、徐々に看護学校の同窓会に出席し、卒業当時と変わらない?(笑)、みんなと会うことで、たくさんの元気をもらいました。今年は、新年早々「苦流し同窓会」があるので、まだまだ元気をもらおうかと考えています。これまで、私の周りにはいつも一緒に笑ったり、悩んでくれたり、支えてくれる仲間や家族がいました。これは本当に幸せな事だったんだなあ・・・と改めて感じています。今年は私自身が周りのみんなを元気にパワーアップさせられるような1年にしたいなと思っています。

笑顔を忘れずに

朝日町立病院 箱崎 綾子

新年明けましておめでとうございます。昨年仕事ではプリセプター、プライベートでは上の子が小学校へ入学、下の子は幼稚園入園とあわただしい一年でした。仕事に子育てに家事にと気持ちに余裕が持てず、笑顔を忘れていたことも…。時々子供たちからは、「ママ、笑って笑って」「ニッコリ笑顔はこうだよ。」と教えられることもあり。今年は、「仕事もプライベートも笑顔を忘れずに」を目標に頑張っていきたいです。

今年の抱負

山形市立病院済生館 高橋 庸佑

今年三度目の年男です。今年この執筆の機会に恵まれ自分の生まれ年「戌」について少し調べてみると、季節では秋から冬にかけての時期で次の作物や種子が育つために土地が肥沃する意味だそうです。そこから考えると、今年は今まで歩んできた道を一度振り返り、次の12年をどう進んでいくかを考える年かなと感じています。今後、看護師として何をしたいかを具体的に決めセミナー、研修に参加し知識と技術を深めたいと思います。と、同時にたくさんの温泉や神社めぐりも楽しみたいと思います。

庄内支部 活動状況

研修会と「まちの保健室」を開催して

庄内支部長 齋藤 ルミ

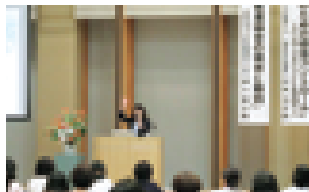
庄内支部では7月8日(土)に三川町なの花ホールにおいて第1回支部研修会を開催しました。最初に山形県看護協会会長より、「看護が地域を変える～看護のつながりを大切にしてネットワークをつくろう～」と題してご講演をいただきました。「看護協会の今の動向が理解できた」「もう少し聞きたかった」という感想が聞かれました。次に、「看護職のための感情コントロール～アンガーマネジメントを学ぼう～」と題して山形県立こころの医療センター、精神科認定看護師の渋谷るみ氏よりご講演をいただき、大変好評で「感情の変換をしながらうまく対処する必要があると思った」「リラクゼーションを活用していきたい」など、学びにつながった感想が寄せられました。

「まちの保健室」では、6月25日(日)に第19回国際ノルディックウォークin鶴岡が開催され、延べ88名の方が参加しました。10月8日(日)には小真木原総合体育館で実施し、280名の来場者がありました。健康づくりに関心のある方が多く、血管年齢測定に多く来場されました。乳がん自己検診法の健康教育では様々な質問があり、興味を持ち学ぶ様子が見られました。11月3日(金)は酒田市平田で開催し178名の参加者がありました。11月25日(土)には、かねてより要望があったイオン三川でも開催し、6ヶ月待ってやっと実現できたとうれしい声をいただきました。

今後も会員の皆様や地域の方々 의견을取り入れ、コミュニケーションを図る機会を増やし支部活動を活発にしていきたいと思ひます。



山形県看護協会会長の講演



精神科認定看護師 渋谷るみ氏の講演



まちの保健室 イオン三川会場

置賜支部 活動状況

置賜支部研修会と「まちの保健室」を開催して

置賜支部長 高橋 啓子

平成29年7月22日(土) 公立置賜総合病院研修室において第1回研修会を開催しました。第1部は井上栄子会長より「看護職が地域を変える～看護職の繋がりを大切にしてネットワークをつくろう～」と題して講話をいただき、「看護協会の活動や地域包括ケアの構築と推進について今後の方針がわかった」などの感想が多くありました。第2部は高橋みほ子先生によるヨガでリフレッシュを行いました。第2回は9月19日(火) 置賜総合文化センターを会場に、講演として「若年性認知症と言われた日から」と題して、講師におれんじドア実行委員会代表の丹野智文氏をお迎えし、54名の参加の下開催しました。自らが若年性認知症であり、当事者の本音のお話や深い言葉、生きていくうえで大切な事をお聞きすることができました。「認知症に対する偏見や考え方が変わった」「病気をオープンにして笑顔で前向きに生きている姿に感動した」など多くの意見が寄せられ大変実りある講演でした。

「まちの保健室」は9月10(日) 西置賜防災センターを会場に産業まつりと併せて開催し、42名の参加がありました。また、10月28日(日) 三友堂病院を会場に医学フォーラムと併せて実施し、57名の参加がありました。内容として体組成計、血圧測定、健康相談を行い大人から子供まで「まちの保健室」を知っていただけたのではないかと思います。

今後も多くの会員の皆様の意見を参考に、研修会の開催と地域住民の皆さまが参加できるような支部活動を行っていききたいと思ひます。



井上会長講話



ヨガとアロマでリフレッシュ！



おれんじドア実行委員会代表 丹野智文さん



まちの保健室

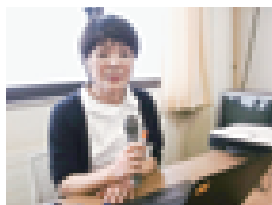
性の健康を支援する委員会発足10年に寄せて

鶴岡市立荘内病院 河田 夏子

2006年に遡ります。厚労省の推進する『健やか親子21:思春期の保健対策の強化と健康教育の推進』における健康教育の必要性から、看護協会を基幹とした思春期健康教育のネットワーク化を図るため『思春期健康教育(仮)小委員会』が設置されました。性の健康を支援する委員会の前身です。設置要綱や実施細則など、当時の委員と試行錯誤し作り上げた記憶は、今は懐かしい思い出です。

現在私は、鶴岡市立荘内病院「女性の健康相談員」として、社会的・産科的リスクのある妊・産・褥婦に関わらせていただいております。また、鶴岡市の「すこやかに子どもを産み育てるネットワーク」の委員として、中学校、高校への性教育出前講座や子育て講話など、リタイア後も充実した毎日を過ごしております。

施設から地域へと、活動の場を広げた助産師に対する地域のニーズは高いと実感しておりますので、より専門性を発揮した委員会活動に大いに期待しております。



訪問看護ステーション 4ブロック会議開催

村山
ブロック

最新のがん治療～がん治療患者の連携について～

訪問看護ステーションふれあい 堀江 美紀子

村山地区ブロック会議が11月17日午後、山形県看護協会訪問看護会館にて開催されました。初めに山形大学医学部附属病院がん化学療法認定看護師の小澤千佳氏より、「最新のがん治療」について講演をいただきました。最新のがん治療を理解し、外来での化学療法の実際、副作用等の対応について学びました。その後、山形市立病院済生館地域連携室看護師長の相田順子氏、済生病院主任看護師の田代陽子氏に出席を頂き、がん治療を行っている利用者さんの連携について情報交換を行いました。日頃疑問に思っていることを話し合うことができました。がん治療をやめたくてもやめられないというケースが2、3出され、「抗がん剤のやめ時」というマニュアルを作る動きがあると聞き希望を持ちました。看看連携だけでは解決できないことも多々ありますが、私たち訪看から足を運んで顔の見える関係づくりをすることで、よりよい連携につながることを確信することができました。



庄内
ブロック

庄内地域における難病患者の現状と課題について見えたこと

訪問看護ステーション かがやき 土井 あゆみ

平成29年12月16日、にこふるを会場に庄内地区訪問看護ステーション技術研修及びブロック会議が開催されました。庄内保健所子ども家庭支援課、菅原恵氏より「庄内地域における難病対策の現状と課題」と称し、山形県における難病対策の取り組み、庄内保健所における難病患者の支援状況についてご講演を頂戴しました。

事例検討では現在3ヶ所のステーションが連携し関わっているALS患者様の事例発表をもとに、現在の連携の現状を共有し、今後の課題を参加者でディスカッションしました。今後の課題としては、訪問看護のマンパワー不足、病院側のレスパイト調整困難、在宅で吸引可能なヘルパーが少ない点等があげられました。各関連病院・訪問看護・行政で現状の課題を共有することができ、今後難病患者様が過ごしやすい在宅医療を構築するにはどうすれば良いか活発な意見交換ができました。この機会を生かし、関係各所と顔の見える連携をしていきたいと思ひます。



最北
ブロック

訪問看護ステーション技術研修及びブロック会議を開催して

天童訪問看護ステーション 氏家 由佳

11月25日(土)に訪問看護ステーションむらやまに於いて病院と訪問看護の連携を図る事を目的にブロック会議が開催されました。

はじめに技術研修として、訪問看護ステーションあたしん家の訪問看護認定看護師、佐藤貴美代氏より「病院と地域の看護をつなぐ」と題しての講演を頂きました。退院支援と退院調整、主体性を尊重したセルフケア支援等改めて学ぶことができました。また、振り返りの機会となりました。

次に「病院と訪問看護ステーションの連携」について情報交換会を行いました。今回は寒河江市立病院・天童市民病院・北村山公立病院・朝日町立病院の看護師の方の出席を頂き、それぞれの立場からの現状と課題を出し合いました。お互いの連携の取り方や同行訪問、退院支援について等々活発な意見交換ができました。前回に引き続き、「顔の見える関係づくり」ができ、同じ方向を向いてより一層の連携を深めていければと思います。



置賜
ブロック

置賜ブロック会議を終えて

湖山病院訪問看護ステーション 石川 容子

11月21日(火) 置賜総合支庁にて置賜地区ブロック会議が開催されました。

第一部は集中ケア認定看護師、山本美紀氏を講師に迎え、「呼吸のフィジカルアセスメント」と題し従事者を含め技術研修を開催。解剖生理・観察ポイント・ケアについて再確認できました。第二部はブロック会議「5年後の置賜地域の在宅支援体制をどうしていくか?～病院と訪問看護事業所との連携～」を開催。保健所側より地域医療構想の説明を受けた後、病院・訪問看護事業所より「5年後の置賜地域の在宅支援体制がどのようになることを希望するか?」と、事前アンケートの結果を確認しながらお互いの不安や要望などを知る事ができました。また、多くの方々に訪問看護をもっと知っていただく為に私達からアクションを起こしていかなければならないと改めて実感しました。事例を踏まえ意見交換できたことにより、お互いの不安軽減にもつながりました。連携をとるにあたってお互いが同じ方向を向いているか確認できたことは、大変有意義でありました。これからは更に今後の動向をみながら情報交換・情報共有し連携強化ができていければと思います。



ナースセンターだより

山形県ナースセンターは、看護職と求人施設をサポートします!!

～看護の仕事相談会情報～

『マザーズジョブサポート庄内』で看護の仕事相談会をはじめました!!

山形県ナースセンターでは、県内のハローワーク等を月1～2回巡回して、「看護の仕事相談会」を開催しています。平成30年1月より、酒田市役所中町庁舎2階のジョブプラザさかた内『マザーズジョブサポート庄内』で相談会を開催することになりました。お仕事を探している看護職の方、ブランクのある方への再就職に関する相談、看護職を目指している方の進学相談、求人施設の方の求人登録などの相談に応じます。**施設内には、保育ルームが完備されており、小さいお子さんがいる方でも、託児を利用しながらの相談も可能です（水曜～金曜、事前予約が必要です）。**皆さんのご利用をお待ちしています!!



マザーズジョブサポート庄内の様子

マザーズジョブサポート庄内(ジョブプラザさかた内)＜アクセス＊駐車場＞



〒998-0044
酒田市中町一丁目 4-10
酒田市役所中町庁舎 2 階
ジョブプラザさかた内

車でお越しの方は中町庁舎脇にある
契約駐車場（セントラルホテル駐車場内）
をご利用ください。

セントラルホテル駐車場内の契約駐車場が満車
の場合は、隣接する酒田市内中央地下駐車場を
ご利用ください。

※酒田市内中央地下駐車場をご利用の場合は、
最大2時間無料となります。



看護の仕事相談会予定表（平成30年2月～6月）

開催場所	開催日	開催時間
ハローワークやまがた	2/9(金)・3/9(金)・4/6(金)・5/11(金)・6/8(金)	10時～12時
ハローワークプラザやまがた	2/27(火)・3/27(火)・4/24(火)・5/22(火)・6/26(火)	
ハローワーク村山	2/26(月)・3/26(月)・4/23(月)・5/21(月)・6/25(月)	
ハローワーク寒河江	2/5(月)・3/5(月)・4/4(水)・5/2(水)・6/6(水)	13時～15時
	2/16(金)・3/16(金)	
ハローワーク新庄	2/6(火)・3/6(火)・4/17(火)・5/15(火)・6/19(火)	10時～12時
ハローワーク長井	2/15(木)・3/15(木)・4/19(木)・5/17(木)・6/21(木)	
ハローワーク米沢	2/15(木)就職面接会・3/22(木)・4/26(木)・5/24(木)・6/28(木)	
ハローワーク鶴岡	2/7(水)・2/28(水)・3/7(水)・3/28(水)・4/11(水)・4/25(水)・5/9(水)・5/30(水)・6/13(水)・6/27(水)	13時～15時
ハローワーク酒田	2/8(木)・3/8(木)・4/12(木)・5/10(木)・6/14(木)	
ジョブプラザさかた（マザーズ庄内）	2/20(火)・3/13(火)・4/5(木)・5/2(水)・6/7(木)	11時～14時

*「看護の仕事相談会」の日程が変更になることがあります。
山形県看護協会ホームページでご確認いただくか、山形県ナースセンターへお問い合わせください。

求人施設・求職者 必見!!

平成30年1月1日施行 職業安定法 改正のチェックポイント

職業安定法の改正に伴い、労働者を募集する際の労働条件明示等のルールが改正されております。お仕事を探しの看護職の方・看護職をお探しの求人施設の方々に、eナースセンターシステムを利用するにあたってのチェックポイントをお知らせします。

求職者の皆さまへ	求人施設の皆さまへ
●求人票と求職票の内容変更 雇用形態、試用期間の有無、勤務形態、固定残業代の有無、求人応募後の選考方法及び個人情報の取り扱いを入力する項目が追加。 ●求人応募を行った際の求人票の表示・印刷が可能 面接時や労働契約締結時の労働条件の変更点等の確認等にご利用ください。 なお、求人施設が求人（募集）時に明示した労働条件から変更や追加を行う場合は、労働条件通知書を書面で渡すことも義務づけられています。労働条件通知書は、労働契約の締結前に、必ず採用先の施設から書面でもらうようにしましょう。	●求人票の内容変更 雇用形態、試用期間の有無、勤務形態、固定残業代の有無、求人応募後の選考方法及び個人情報の取り扱いを入力する項目が追加。 ●早期離職状況の登録機能が追加 ①無期雇用就職者に対する早期離職状況の対応 平成30年4月1日以降に常勤（期間に定めのない雇用）で就業する者については、6か月以内の早期離職または、6か月後の就業状況をeナースセンターシステムのコンタクト履歴から登録できる機能を追加。 ②不採用登録及び採用取消時の不採用理由の追加 採否登録時に「不採用」とした場合、あるいは採用後に「採用取消」となった場合、不採用とする理由の登録が必要。 ●求職者が求人応募を行った際の求人票の表示・印刷が可能

⇒すでに登録いただいている求人施設の皆さまには、随時、郵送やメールで、求人票の登録内容の修正や追加をお願いしております。ご不明な点は山形県ナースセンターにお問い合わせください。

～退職後も輝きたい!! 看護職のみなさん～

プラチナナース研修会に参加しませんか?

退職(予定も含む)または未就業の看護職を対象に、「プラチナナース研修会」を開催します。ハローワークやまがたの介護労働専門官 伊藤秀人氏を講師にお迎えして、「再就職に役立つ履歴書・職務経歴書の書き方」について学ぶことができます。また、多様な働き方やナースセンターの活用術、そして皆さまの様々な疑問にお応えする個別相談会もあります。お友達同士お誘い合わせの上、ご参加ください。プラチナナースの皆さん、お待ちしております!!

日 時：平成30年2月24日(土) 13:30～15:30
場 所：山形県看護協会会館 2階第2研修室
対 象：退職(予定も含む)または未就業の看護職 50名程度
参加費：無料



平成30年度看護師等職場説明会

看護学生、看護職の資格をお持ちの方が各病院のブースを自由に訪れ、求人担当者と面談し、看護内容、院内教育や採用条件などの説明を受けられます。

日 時：平成30年4月7日(土) 13:00～16:00
開催場所：山形テルサ 3階アブローズ
対 象 者：最終学年の看護学生、未就業の看護職
内 容：①病院等の紹介
②相談コーナー（訪問看護、ナースセンター）
③履歴書・職務経歴書の書き方セミナー

来場者特典として…

- ①「山形県看護職就職ガイドブック」
- ②スタンプラリーで素敵な景品プレゼント!

～お知らせ～

今年度もナースセンターでは、3月末で病院を退職される皆様へ「離職者アンケート」と「届出登録票」をお願いすることになりました。看護管理者に一括送付しておりますので、記入の上、**看護管理者に提出**くださいますようお願いいたします。

提出期限：平成30年4月末

山形県ナースセンター（山形県看護協会内）

☎023-646-8878（直通）FAX023-643-5727
e-mail:yamagata@nurse-center.net



健康お役立ち情報

シリーズ
13

二日酔い

お正月は新年会で二日酔いに悩まれた方も多いのではないのでしょうか？二日酔いの予防や対策を知り、上手くお酒と付き合っていく方法を身につけておきましょう。

予防方法

- 1. お酒を飲む前に脂肪分の多い食べ物を摂る**
脂肪は胃の中に入っても吸収されにくいので、飲酒の前にナッツ、ドレッシング（ノンオイル除く）をかけたサラダなどを摂取すると効果的。
- 2. お酒を飲む時に休憩をとる**
ソフトドリンクを途中に挟み、アルコール吸収を遅くし二日酔いを予防する。
- 3. 就寝前に必ず水分補給をする**
発汗やアルコールの分解で水分を使うため、脱水予防として水分補給をする。
- 4. 飲酒後にウコンを摂る**
ウコンは吐き気や頭痛の原因となる物質の分解を積極的に促す働きがある。

二日酔いになった場合の解消法

1.とにかく水分補給をする

二日酔いの症状は水分不足が原因。水分補給でアルコール分解を促進し、尿の量を増やすことでアルコール排出を促す。また水分補給はスポーツドリンクなど身体に吸収されやすい飲み物を選ぶ。



2. 水分を摂りながらぬるま湯にじっくり浸かる



ぬるま湯（38℃～39℃）に入ることによって、発汗によりアルコールが排泄されやすくなる。ただし、入浴前には脱水症状を悪化させないようにしっかりと水分補給することが重要。また二日酔いの症状がひどい場合は、無理に入浴せず、安静にゆっくり休む。

（広報委員作成）

理事会等の開催報告

・平成29年11月16日（木）第7回理事会

- 審議事項**
- 平成29年度山形県看護協会上半期事業報告 <承認>
 - 平成29年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告 <承認>
 - 公益社団法人山形県看護協会選挙規則一部改正(案) <承認>
 - 平成30年度日本看護協会会長表彰の推薦について <承認>
 - 平成30年度日本看護協会名誉会員の推薦について <承認>
 - 平成30年度山形県看護協会職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営委員の選出について <承認>

・平成29年12月14日（木）第8回理事会

- 審議事項**
- 平成30年度山形県看護協会重点事業（案） <承認>
 - 平成30年度山形県看護協会教育計画について
 - 平成29年度実施状況
 - 平成30年度教育計画の基本方針(案)
 - 平成30年度教育計画一覧(案) <承認>
 - 山形県看護協会平成30年度事業スケジュール(案)について <承認>
 - 山形県看護協会常任委員会「性の健康を支援する委員会」の名称について提案 <承認>

平成29年11月上旬～12月下旬の山形県看護協会事業実施状況

- 平成29年11月17日（土）訪問看護ステーション村山ブロック技術研修会
- 平成29年11月18日（日）医療安全やまがたフォーラム
- 平成29年11月20日（月）日本看護協会創立70周年記念式典及び祝賀会
- 平成29年11月20日（月）置賜地域新人看護職交流会
- 平成29年11月21日（火）訪問看護ステーション置賜ブロック技術研修会
- 平成29年11月21・22日（火・水）日本看護協会第5回理事会・法人会
- 平成29年11月25日（土）訪問看護ステーション最北ブロック技術研修会

- 平成29年11月27日（月）最北地域新人看護職交流会
- 平成29年12月4日（月）庄内地域新人看護職交流会
- 平成29年12月8日（金）山形地域新人看護職交流会
- 平成29年12月10日（木）庄内地域看護管理者ネットワーク会議研修会
- 平成29年12月16日（土）山形県看護協会教育計画に関する懇談会
- 平成29年12月16日（土）訪問看護ステーション庄内ブロック技術研修会
- 平成29年12月21日（木）公益社団法人立ち入り検査（地域医療対策課）

Information インフォメーション

平成29年度医療職のワーク・ライフ・バランスフォローアップワークショップ

開催日：平成30年2月16日（金）
会 場：山形県看護協会会館・3階第1研修室
時 間：9時50分～16時
参加費：無料
WLB取り組み発表施設
みゆき会病院 最上町立最上病院
町立真室川病院 寒河江市立病院

基調講演：日本看護協会 労働政策部 部長 橋本 美穂氏
「はたらく看護職の生活背景の理解と看護職から選ばれる求人施設になるために」

シンポジウム：「医療職の人材確保と勤務環境の見直し」
～多職種から選ばれる求人施設になるために～

座 長：橋本美穂氏
シンポジスト：医業分野アドバイザー・社会保険労務士
山形労働局（働き方・休み方改善コンサルタント）
病院看護管理者

平成30年度診療報酬・介護報酬改定説明会開催

【開催日時】 第1回：平成30年3月28日（水）
9:00～17:15

第2回：平成30年4月12日（木）
9:00～17:15

【開催場所】 山形県看護協会会館・看護研修センター

【対 象】 山形県看護協会会員及び非会員

【参 加 費】 会員：5,400円 非会員：7,560円

【申込方法】 所定の申込用紙にご記入のうえ、FAXで申込み

【申込締切】 平成30年2月23日（金）

※詳細は、当協会教育研修課へお問合せください。

平成29年度 会館建設積立金 納入状況

（平成29年12月31日現在） 皆様の多大なご協力ありがとうございます。今後ともよりよろしくお願いいたします。

納入人数	金 額	満額納入者
3,171	15,559,000	160名

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様にとって、健康な一年でありま
すように心より願っております。

